

7月12日森づくり活動について

天 候：晴れ

参加者：池田、近江、芳野、森永、浅井、
本田、辰尾、星野

報告者：星野

本日は、久しぶりの梅雨の晴れ間で、蒸し暑い日。コロナ禍と雨天によって作業が中止になっていたために、3月のキノコ駒打ち以来、4ヶ月振りのもの。

従って、作業開始前にフィールドの状況を観察するために、フィールド内を一巡した。全体として、ヤマツツジは順調に生育しているが、未だ雑草や蔓、低木の被圧に耐えられる状態ではなく、引き続き下刈りが必要。参加人員を下刈りと低木処理の2班に分け、下刈りは南側奥に向かう付根の斜面を、低木処理は川沿いのサプリガード周辺の低木と蔓を除去。暑い中で、難渋した。

雑草の繁茂期の5月と6月に作業が中止となったので、8月以降の作業も大変なものとなりそう。

作業終了後は、植物の同定を実施。これは、昨年5月以来のもの。花のない時期なので、葉と蔓類が主体となった。

食事後、池田会長から文科省の“子供自然体験推進事業”の説明があり、本日の作業は終了となった。



フィールド内巡視



植物の同定



アブラチャンの果実